



地域と防衛施設を結ぶ情報誌

ちゅうごくしこく

第2号

編集・発行

中国四国防衛局総務部

〒730-0012

広島市中区上八丁堀6-30

電話 082 - 223-7109



在日米陸軍秋月弾薬廠サンケル司令官に感謝状贈呈



去る6月4日、在日米陸軍秋月弾薬廠／第83兵器大隊司令官ジョエル T、サンケル中佐の離任にあたり、同司令官の在任中の功績を称え感謝の意を表すため、月橋局長から感謝状を贈呈しました。サンケル司令官は、平成18年6月に着任以来、地域住民との友好関係の促進を図るとともに、弾薬施設に関する諸問題の解決に尽力され、また、同部隊の駐留軍等労働者に対する健全で良好な職場環境の維持、向上に努める等日米両国の信頼と協調関係の増進に大きく寄与されました。

なお、6月27日には呉の司令部において司令官の交代式が行われ、サンケル中佐から初の女性司令官となるシーラ A、ブライアント中佐に隊旗が引き継がれ部隊指揮権の移譲が行われました。（写真左）

昨年9月1日、防衛省の組織改編により、中国四国防衛局は、従来旧装備本部大阪支部で実施されていた装備品の調達に関する監督及び検査等の業務が新たに加わることになりました。本号では、その業務を実施する当局の調達部装備課と玉野防衛事務所を紹介します。

調達部装備課の紹介

調達部装備課(旧装備本部大阪支部広島事務所)は、平成19年9月1日、改編された中国四国防衛局内における装備品の調達に関わる部門として、新たにスタートしました。

◎ 沿革

装備課の起源は、昭和34年1月に設置された調達実施本部大阪支部神戸駐在官事務所呉出張所(以下、「呉出張所」という。)に始まります。昭和50年7月、呉出張所、(株)日本製鋼所と中国化薬(株)の工場駐在官を統合し、調達実施本部大阪支部広島調達管理事務所が発足しました。その後、平成13年1月に契約本部大阪支部広島契約管理事務所、平成18年7月には装備本部大阪支部広島事務所に名称を変更後、昨年の防衛省組織改編に伴い誕生した中国四国防衛局への統合を経て、今日に至っています。

以前、事務所の所在地は、広島市内の民間施設にありましたが、昭和62年10月に広島地方合同庁舎4号館の完成に伴い、同庁舎5階に移転し、現在に至っています。

◎ 組織

装備課の組織は、課長、主任検査官・検査官、原価監査官、情報セキュリティ監査官及び管理係で構成されています。

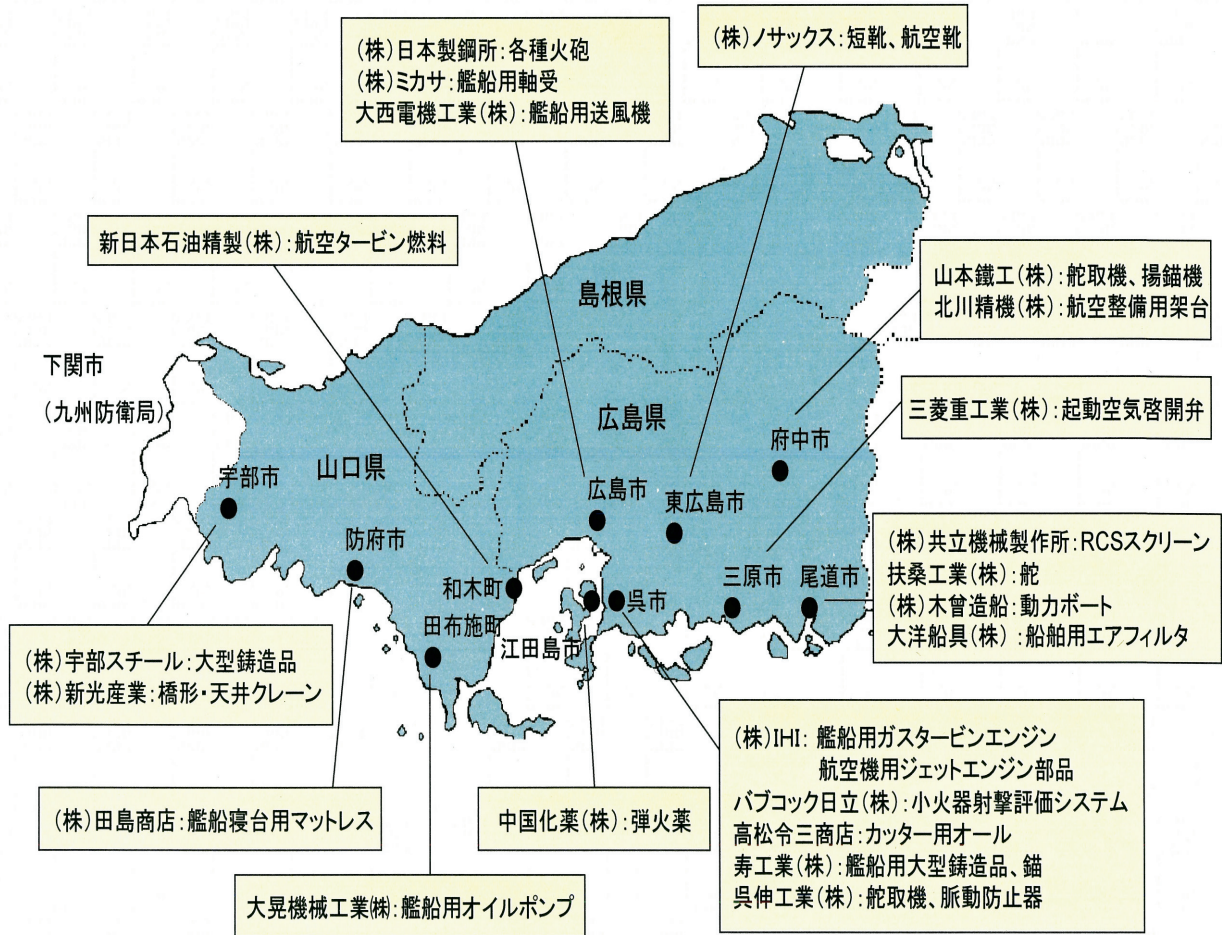
◎ 業務の概要

装備課の業務は、広島県、山口県(下関市を除く。)及び島根県を管轄区域にし、主に装備施設本部が契約した調達品に対する監督・検査を実施しています。

特に、一般市場にない特殊な納入品の中には、後日、装備施設本部においてあらかじめ定める基準に従い契約金額の範囲内で確定するものがあり、それについては原価監査官が契約企業の直接材料費の購入品明細表及び作業者の作業票等を審査し、その結果を本部へ報告し、契約代金の確定資料としています。

なお、管轄区域の主な企業、納入品及び所在地は、次頁のとおりです。

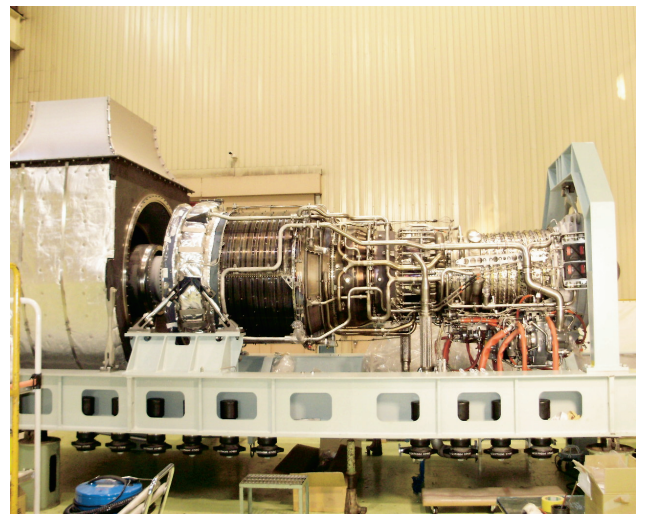
装備課管轄区域の主な企業及び納入品



99式155mm自走りゅう弾砲



護衛艦のガスタービンエンジン



玉野防衛事務所の紹介

玉野防衛事務所は、平成19年9月1日付で旧「装備本部大阪支部玉野事務所」から「中国四国防衛局」の事務所として改編された組織です。

◎ 沿革

玉野事務所の起源は、岡山県最南部の玉野市内にある三井造船(株)玉野事業所が海上自衛隊発足当初の昭和29年に警備艦「いなづま」を建造するにあたり、その監督、検査を行うため「玉野地区監督官事務所」として開設され、最初は玉野事業所内の1室から始まりました。その後、現在の所在地である三井造船に隣接する民間ビル内に移転して現在に至っています。この間、調達実施本部(昭和29～平成12年)、契約本部(平成13～18年)、装備本部(平成18～19年)の隷下事務所としていくつかの名称変更を経て、今回の統合により現在の「中国四国防衛局玉野防衛事務所」という名称になりました。

◎ 組織

玉野事務所の組織は、所長、検査官、原価監査官及び総務係で構成されています。

◎ 業務の概要

玉野事務所の業務は、「地方防衛局の内部組織に関する訓令」(防衛省訓令第54号)に基づき、「岡山県、鳥取県及び四国全域(計6県)における防衛省が調達する装備品及びこれに関する役務にかかる原価監査、監督検査及びその他契約の履行に関する業務を実施する。」と規定されています。

この業務の内容を具体的に紹介しますと、現在、隣接する三井造船で平成19年度から建造が開始された「海洋観測艦」(平成22年3月完工予定)の監督検査を実施するほか、北は鳥取県に所在する航空自衛隊美保基地における落下傘の製品試験、南は高知県に所在する船舶部品製造企業での部品検査を実施するなど、当事務所わずか4名の組織ながら1年中、中国四国6県を飛び回るほど、精力的に業務をこなしているところであります。

なお、玉野事務所の管轄区域における主な企業、所在地及び納入品は次のとおりです。

企業名	所在地	納入品
三井造船	岡山県	護衛艦、補助艦艇
ナカシマプロペラ		艦船用プロペラ
多田電機		艦船用空気冷却器
ジャパンエナジー		航空タービン燃料
三菱電機	香川県	潜水艦用電気機器
讃岐缶詰		缶詰
タダノ		特殊車両
住友重機械ハイマテックス	愛媛県	艦船用錨鎖
コスモ石油		航空タービン燃料

防衛問題セミナー開催の御案内

中国四国防衛局では、我が国の安全保障や国の防衛に関する問題について、広く国民の皆様にご理解を頂くため、防衛政策や自衛隊の活動の現状などについての情報を積極的に提供することとし、今後も引き続き、防衛問題セミナーを開催する計画です。

今回は、来る7月28日（月）に高知市内の高知商工会館において、「陸上自衛隊第14旅団の編成と配備」、「自衛隊の災害派遣活動と体験談」をテーマに陸上自衛隊第14旅団副旅団長と香南市長を講師に迎え、5回目の防衛問題セミナーを開催いたしますので、多数ご参加いただきますようご案内します。

防衛問題セミナー

テーマ

四国を守ります。陸上自衛隊

陸上自衛隊第14旅団の編成と配備 自衛隊の災害派遣活動と体験談

開催日

平成20年7月28日（月）

■18:00開場・受付開始

■18:30開始

■20:20頃終了予定

場所

高知商工会館（4F光の間）

高知市本町1丁目6番24号

講師

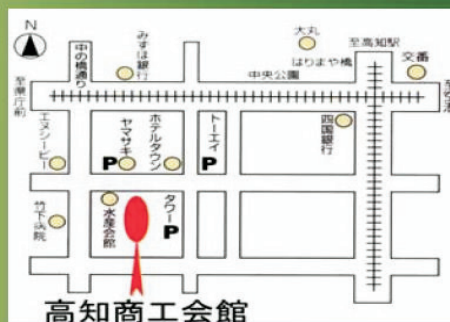
陸上自衛隊 第14旅団副旅団長 1等陸佐 松井俊彦
香南市長 仙頭義寛

アクセス

- JR高知駅から徒歩5分
- バス「堀詰停留所」から徒歩3分
- 土佐電鉄堀詰電停から徒歩3分
- 駐車場のご案内 80台収容（有料）
（駐車場の収容台数が少ないため、公共機関のご利用をお願いします。）

参加方法

- 参加無料
- 先着順です。定員（200名）になり次第締め切らせていただきますので、ご了承下さい。
- 事前の申し込みは必要ありません。



お問い合わせ先：■防衛省 中国四国防衛局 企画部 地方調整課 TEL 082-223-7153
広島県広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎 4号館内
■防衛省 中国四国防衛局 高松防衛事務所 TEL 087-831-6336

香川県高松市松島町1-17-33

今年度のニューフェイスを紹介します。

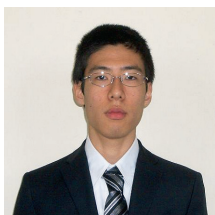
今年度、新たに採用されました当局の若き職員を紹介します。
局職員はじめ関係機関の皆様の御指導と御鞭撻の程よろしく申し上げます。



公務員になった以上、常に第三者の目を気にしなければならぬと感じています。

全体の奉仕者であるので、全力で職務に臨むことが大切だと思います。また、勤務時間外においても自らが公務員であるということを自覚し、行動するように心がけます。

総務部契約課 荒目 泰宏



私は公務員となって、責任が重い仕事だということを知りました。公務員の給与は税金によって賄われていること、これはつまり国民から期待されているということだと思います。どのような業務に対しても周囲の方々のためになると信じて、全力であたっていくよう頑張ります。

企画部防音対策課 星下 将也



自分がやっている仕事の大切さ、国民に対する責任の重さなどを常に心得ておくことが必要だと思いました。日頃の生活でも、公務員だということを忘れずに、軽はずみな行動や、ひとから見て不快に思われるようなことをしないように心がけようと思います。

企画部施設補償課 小林 桂子



まず公務員という前に、社会人として自分の行動に責任を持ちたいと思います。学生時代とは違い、自分の言動が他者にとっては防衛省の言動と捉えられてしまうプレッシャーはありますが、毅然とした態度で務めていきたいと思っています。まだまだ至らない点ばかりですが、仕事を学び国民のためになるよう努力していきたいです。

調達部調達計画課 阿部 大輔



普段から、周りの人に見られているんだという気持ちを持ちながら、毎日を過ごしていきたいです。また、電話対応がとても多いので、失礼のないよう、言葉遣いに気をつけて対応したいです。初心を忘れずに日々の業務に取り組みたいと思います。

調達部土木課 穂之上 明

**** 地方防衛局だより ****

【当直室】中国四国防衛局は、休日・深夜を問わず、我が国の安全保障等に影響を与える不測の事態への迅速・的確な初動対応を行うため、当直体制を執っています。

夜間・休日等に中国四国防衛局の職員を配置（2名体制）

○平日は、17：30分から翌日08：30分まで対応

○休日は、終日対応

電話（082）223-8105 FAX（082）223-4036